

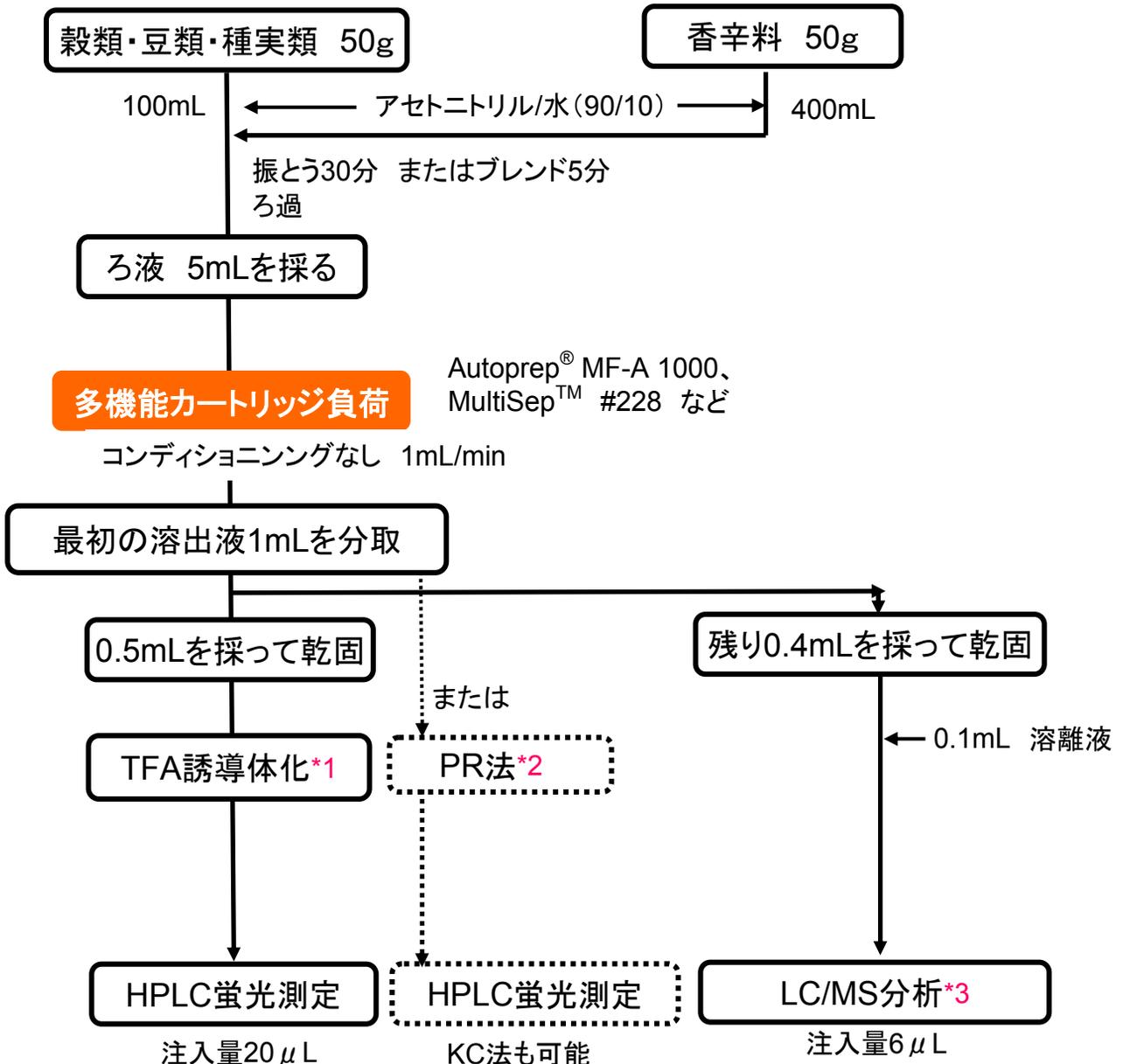
LC用多機能カートリッジ(H14年厚生労働省通知法)

登録番号 FTD004

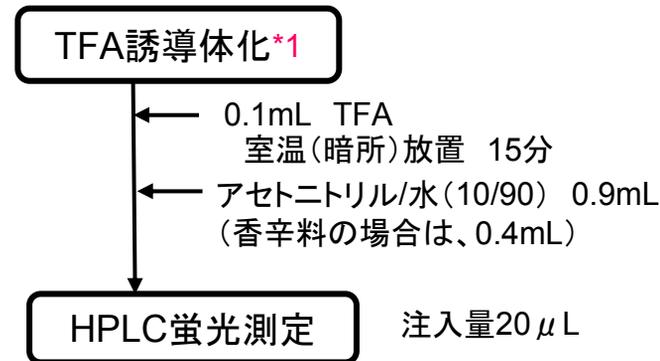
1. 厚生労働省 食監発第0326001号(平成14年3月26日付け)
「多機能カートリッジを用いる定量分析方法」
2. 穀類・豆类・種実類にはMultiSep™#228、MycoSep®#226、MycoSep®#228、Autoprep® MF-A 1000を採用
3. 香辛料には、MultiSep™#228、Autoprep®MF-A1000を採用

■プロトコル

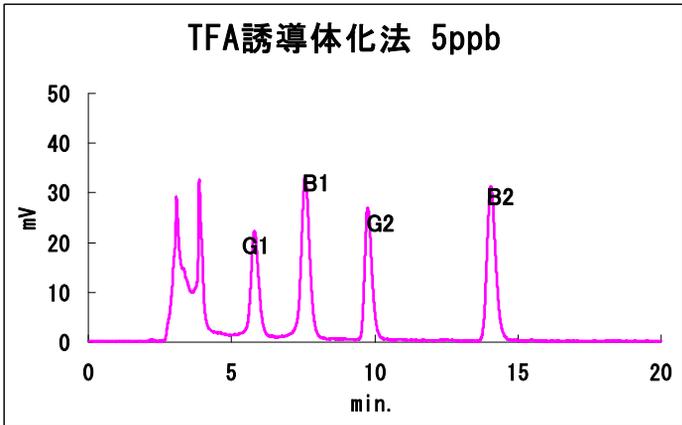
多機能カートリッジでは、親水性の高いカビ毒が先に溶出され、疎水性の高い妨害成分は遅れて溶出されます。通常のHPLC分析と同じ分離原理が働いていますから、ゆっくりした通液速度が、より良い分離効果(クリーンアップ)を実現します。



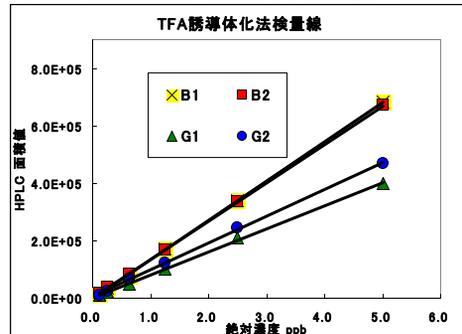
***1 TFA誘導体化-HPLC/蛍光測定**



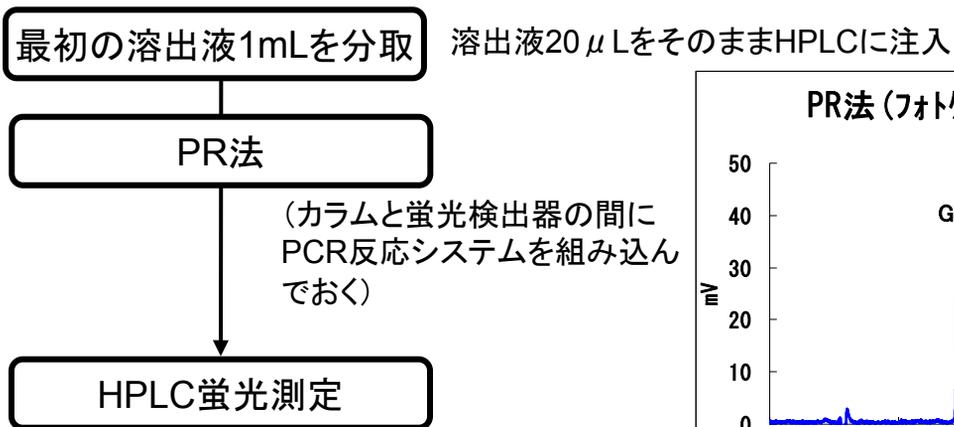
Shodex Silica C18M 4E (4.6 \times 250mm)
 アセトニトリル:メタノール:水=1:3:6
 1mL/min 40 $^{\circ}$ C
 Ex:365nm、Em:450nm



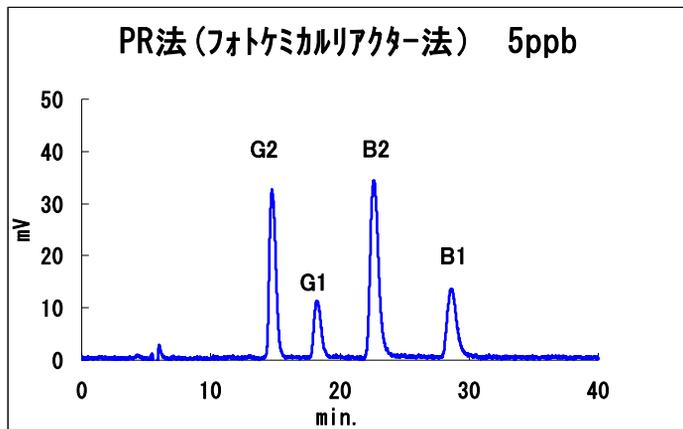
誘導体化法により溶出順序は変わります。



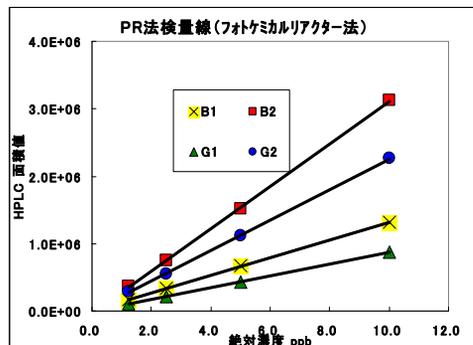
***2 フォトケミカルリアクターによる蛍光誘導体化(PR法)-HPLC蛍光測定**



Shodex Silica C18M 4E (4.6 \times 250mm)
 メタノール:水=4:6
 0.7mL/min 40 $^{\circ}$ C
 Ex:365nm、Em:450nm



誘導体化法により溶出順序は変わります。



*コブラセル法(KC法)もHPLC測定後にポストカラムで誘導体化を行う。

***3 LC/MS測定**

Shodex Silica C18M 2D (2.0 \times 150mm)
 アセトニトリル:メタノール:10mM酢酸アンモニウム=2:6:15
 0.2mL/min 40 $^{\circ}$ C